

2020年度 火災・防災訓練について(東富士センター)

今年の梅雨は線状降水帯の停滞により、例年とは比べ物にならないぐらい雨量・風共に強烈でした、九州熊本地方では多くの浸水・河川の氾濫・土砂災害など人や家屋に甚大な被害を及ぼし、その規模は大型台風と同程度の災害であろうかと思えます。被災地の皆さま方におかれましては、一日も早い復旧をお祈り申し上げます。

さて、東富士センターでは火災・防災訓練を例年6月・12月での定例実施としておりますが、6月に予定していた訓練は風雨の影響で延期となり、昨年と同様7月の実施となりました。

避難誘導・初期消火・避難集合・消火栓の操作・消火器の取扱い操作等一連の訓練を行うのですが、今現在蔓延している新型コロナウイルスの影響で、三密(密集・密閉・密接)状態を回避する必要があるため、避難誘導・避難集合・裾野消防署消防室室長からの講評に短縮して実施致しました。

新型コロナウイルスが終息に至るまでまだ時間を要する状況ですが、今後の火災・防災訓練は、更に気を引き締め引き続き実施いたします。



火災通報・館内避難全館放送訓練



ソーシャルディスタンス確保による集合



裾野消防署消防室室長による講評